

ENERGY POST P840

エネルギーポスト

P840 カーポート用施工説明書

このマニュアルは、エネルギーポスト P840（カーポート用）の施工手順を示したものです。水栓やコンセントをオプションとして組み込んでいる場合は、同梱の別冊マニュアル「エネルギーユニット組立説明書」をご覧ください。

施工店様へのお願い

■はじめに

- 製品の施工につきましては、必ずこの説明書に従ってください。
- 本施工説明書および取扱い説明書は、施工後必ずお施主様へお渡しください。
- この説明書は、大切に保管いただき、永くお役立てください。
- 製品の引き渡し時には、施主様に使用方法・使用上の注意・手入れの方法等の説明を十分に行ってください。

■お問い合わせ先

ナカシマプロペラ株式会社 IOS（イオス）開発グループ
〒709-0625 岡山市東区上道北方 688-1
TEL:086-279-5115 FAX:086-279-5154

目次

■設置上の注意	2
■施工上の注意	2
■各部の名称	3
■各部の寸法	4
■施工前の準備と確認	
1. 設置場所について	5
2. 適合電気配線と PF 管	6
3. 給水・給湯配管について	6
4. 各部の分解・組立について	7
■施工手順	
1. エネルギーユニットの組立	7
2. 給水、給湯管の取付け	8
3. 基礎工事と配管準備	9
4. 埋め込み作業	10
5. 電気配線作業	10

■ 同梱品の確認

- 付属品小箱の中に、同梱品チェックリストが収められています。開梱後直ちに、同梱品とチェックリストの照合を行ってください。
- 欠品がある場合は、チェックリスト記載の連絡先まで至急、お知らせください。
一般的なお問い合わせは：ナカシマプロペラ（株）イオス開発グループ TEL086-279-5115

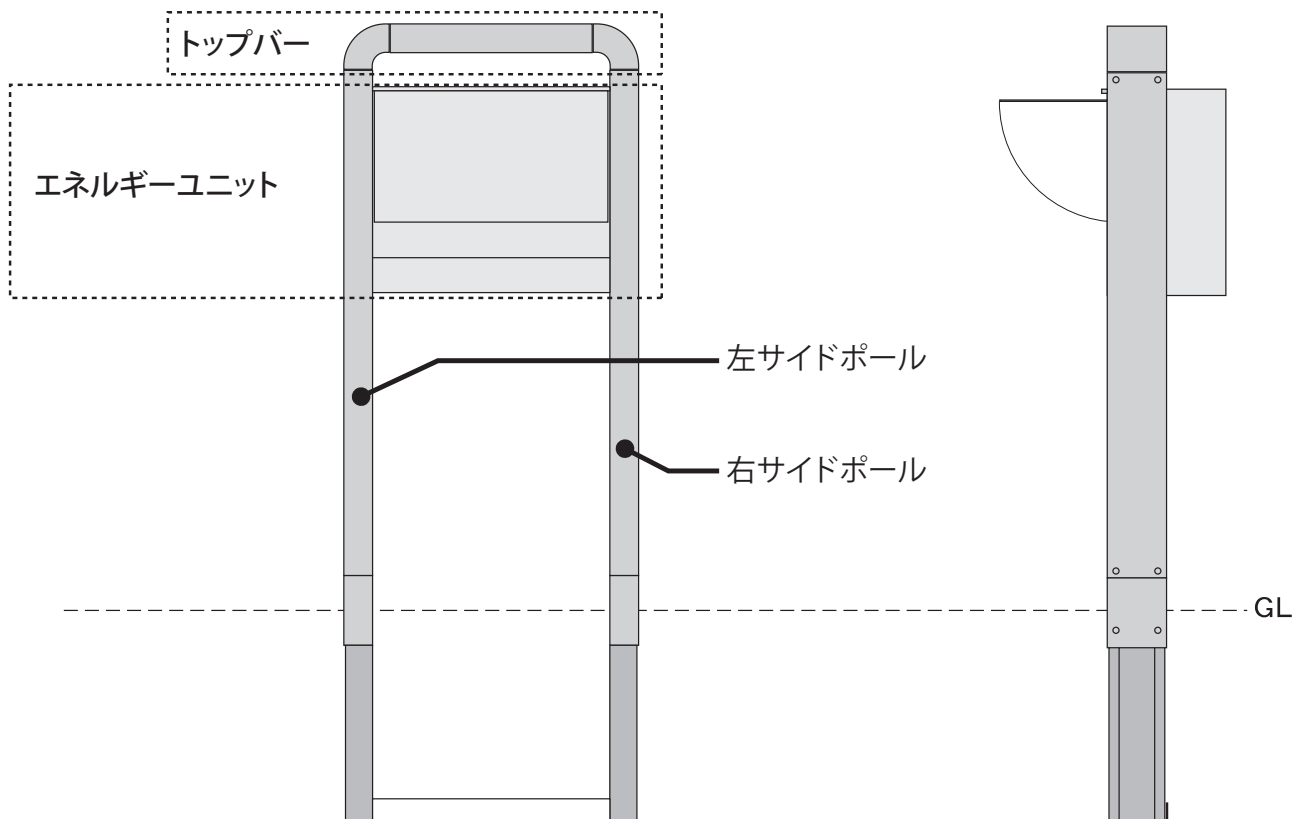
■ 設置上のご注意

- 当商品は寒冷地仕様ではありません。
- 設置場所に製品が収まるかを高さ方向を含めて、施工前に必ず確認してください。
- 施工範囲内に、他の配管（電気・水道・ガス）が埋込まれていないことを確認して下さい。
- ガス給湯器等の排気が直接当たる所には設置しないでください。
- 本体には電装部品が組み込まれていますので、梱包を屋外に放置しないでください。

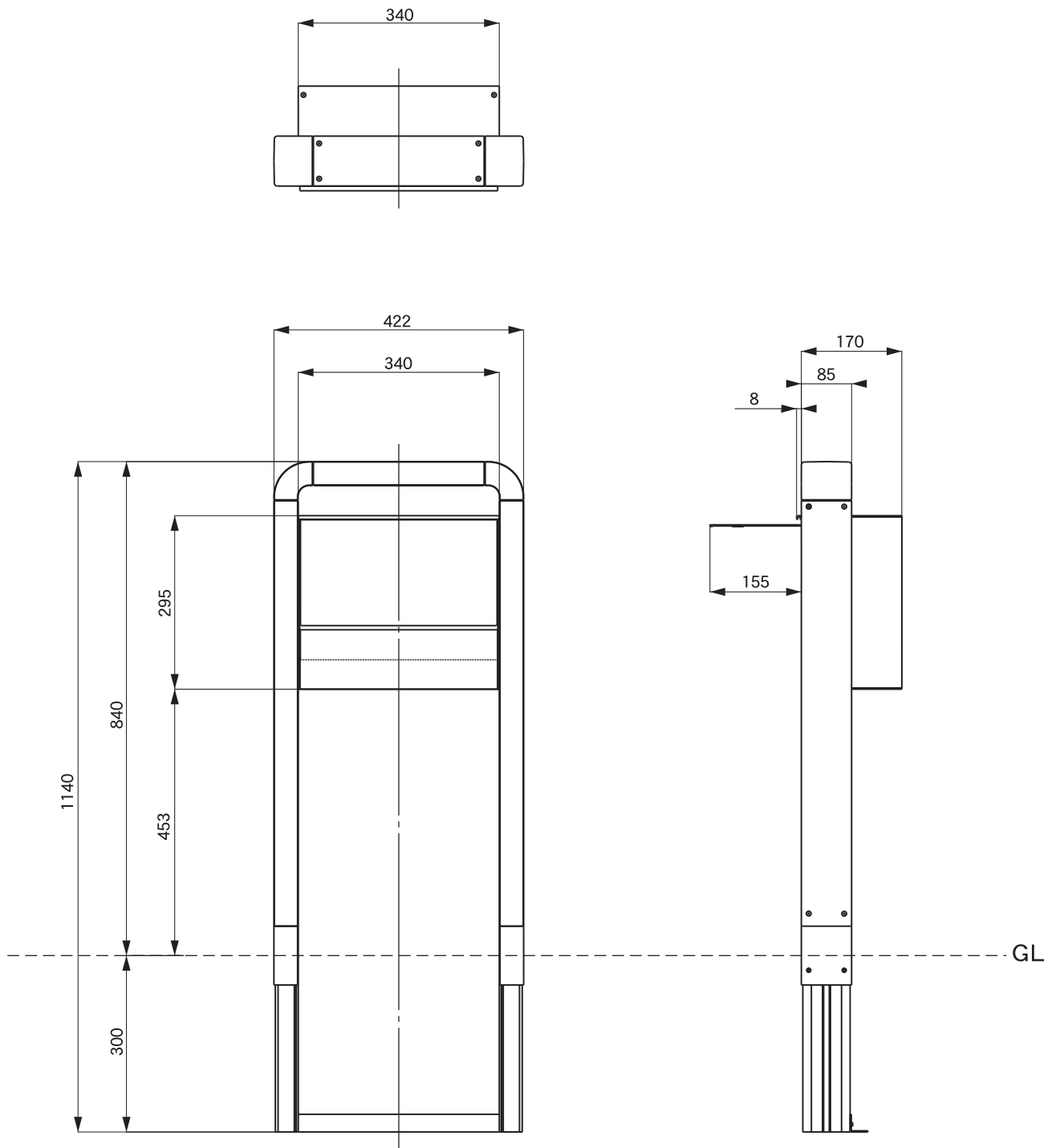
■ 施工上のご注意

- 商品の施工につきましては、必ず本説明書に従って施工してください。
- 製品の改造・変更は絶対にしないでください。
- 照明、インターホン等の電気工事および地中の配線工事は、必ず電気工事店にご依頼ください。その際、本商品の施工をされる方と十分打ち合わせの上で、工事を行ってください。
- 本体に電源スイッチはありません。必ず屋内にスイッチを用意してください。
- 設置場所の地下埋設物の有無を確認し、それらを破損しないように注意してください。
- 基礎はかならず基準どおりに工事してください。
- 施工時に、本体に物をぶつけたり、傷を付けたりしないように十分注意してください。
- モルタルやコンクリートの急結剤は、腐食の発生促進の作用がありますので使用を避けてください。または塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウムの入っていないものを使用してください。
- 施工時に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに拭き取ってください。
- 施工完了後、ねじ類のゆるみ・脱落がないように再度点検してください。
- 施工完了後、照明・コンセント・水栓等の作動確認を必ず行い、不具合がないことを確認してください。
- 混合栓、淡水栓を破損し代替品を手配する時には、必ず御購入店経由にてナカシマプロペラに手配願います。エネルギーポストに同梱されている淡水栓、混合栓はエネルギーポスト専用仕様となっており、一般には流通しておりません。

■ 各部の名称

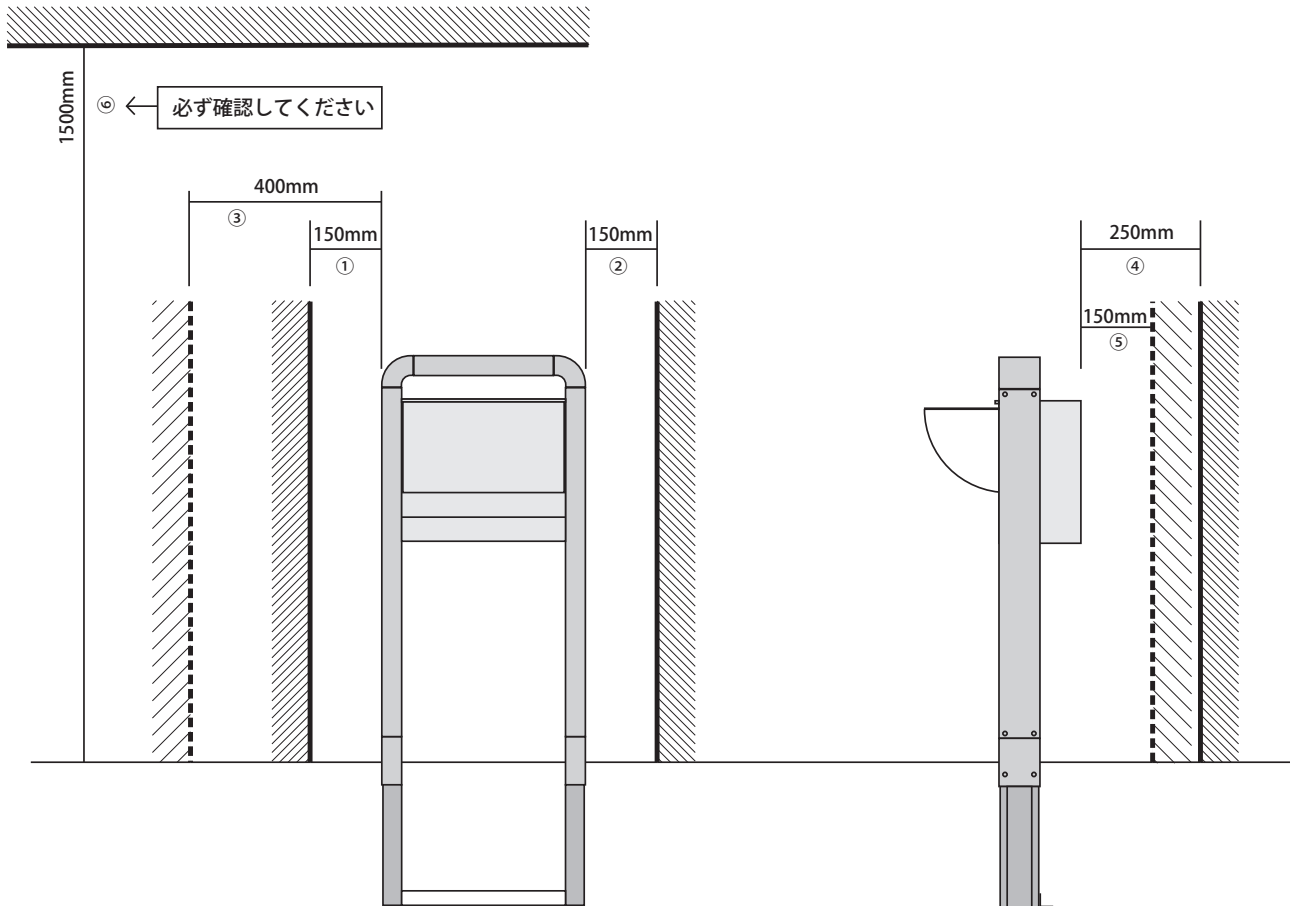


■ 各部の寸法



■ 施工前の準備と確認

1 設置場所について



- ①②：左右サイドポール内の電気配線、給水給湯管配管のため、150mm あげてください。給水・給湯配管を使用しない場合は向かって右側の②は 50mm で十分です。
- ③： 背面に壁がある場合は、背面にアクセスするため左右いずれか一方に 400mm の空間が必要です。
- ④： 背面側からエネルギーユニット内配線・配管作業をおこなうため、ポスト背後に 250mm の空間をご用意ください。
- ⑤： 水栓を内蔵しない場合には、壁までの距離は 150mm で十分です。
- ⑥： サイドポールカバーを上をスライドしてとりはずすため、ポスト上部設置場所の天井は 1500mm の高さがが必要です。(P.7「各部の分解・組立について」参照)

※埋め込み施工については、P.9 の図を参照してください。

2 適合電気配線と PF 管

内蔵機器等	定格	電線	PF 管	備考
EV 200V コンセント	250V/20A	VVF 2.0-3C	呼径 16 (外径φ 23)	EV 用コンセントは、どちらか 1 台のみ内蔵可能です。
EV 100V コンセント	125V/15A			
通常 100V2 口コンセント	125V/15A	VVF 1.6-3C	呼径 16 (外径φ 23)	100V2 口コンセント用の電源線と、LED 用の電源線は同一の PF 管にて入線してください。 足元灯・表札バックライトのうち 1 個のみ使用した場合の消費電力は 0.73W です。
LED 足元灯	1.45W(100V)	VVF 1.6-2C		
本体アース	-	アース線	-	

■ご注意■

EV コンセント用電源、100V コンセント用電源、LED 足元灯用電源は、それぞれ別の配線でおこなってください。

EV コンセント、および 100V コンセントには必ず漏電ブレーカーを設置してください。

コンセント用のアース線以外に本体アースを取って下さい。アース線、アース棒は付属しておりませんので、別途ご用意ください。

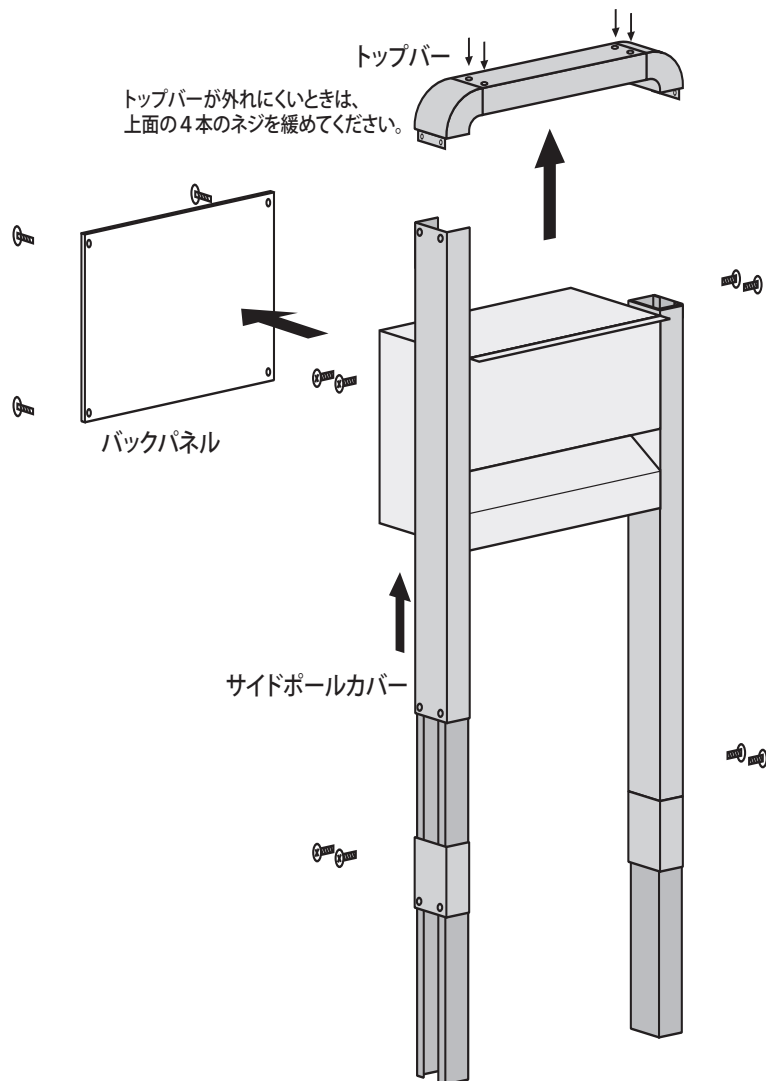
PF 管の埋め込み、本体への挿入などは、P.9「基礎工事と配管準備」をご参照ください。

3 給水・給湯配管について

給水・給湯管については、本体側ブレードフレキ管に土中で接続することになります。管の準備につきましては、P.9「基礎工事と配管準備」をご参照ください。

なお、フレキ管のネジの使用は G1/2 になっていますので、必要なアダプタなどをご用意ください。

4 各部の分解・組立について



■バックパネル

バックパネルは、バックパネルを固定している4本のネジを緩めて取り外してください。

■サイドポールカバー

まず、左右サイドポールカバー上部の4本のネジをはずして、トップバーを上引き抜いてください。サイドポールカバー下部の2本のネジをはずすと、サイドポールカバーを上引き抜くことができます。

■ 施工手順

1 エネルギーユニットの組立

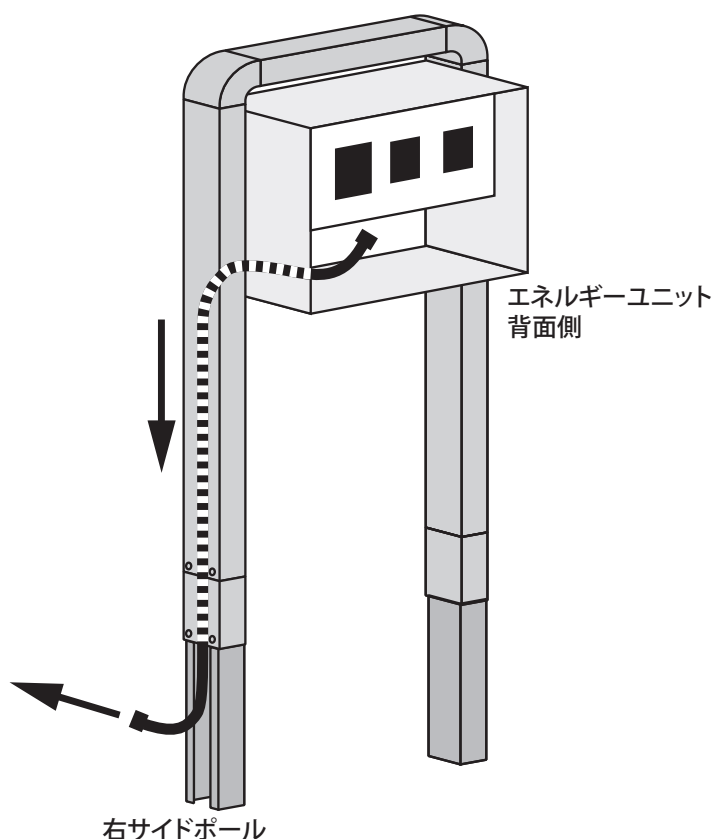
エネルギーユニットに、電源コンセント、水栓などのオプション品を組み込みます。別冊の「エネルギーユニット組立説明書」をご参照ください。

2 給水、給湯管の取付け

エネルギーユニット背面側からフレキ管を右サイドポール（背面側から見ると左側のサイドポールです）に差し込み、サイドポール下端よりフレキ管の先端がのぞくまで管を挿入してください。

フレキ管の上端を水栓のネジにしめつけてください。このとき、シールテープなどで必要な処理をしてください。（シールテープは付属していませんので、別途ご用意ください。）

断熱処理が必要な場合は、断熱テープをフレキ管に巻いてください。断熱テープは付属していませんので、別途ご用意ください。サイドポール内部のフレキ管に断熱テープを巻き付けるには、サイドポールカバーを取り外してください。サイドポールカバーの取り外しについては、P.7「各部の分解・組立について」をご参照ください。

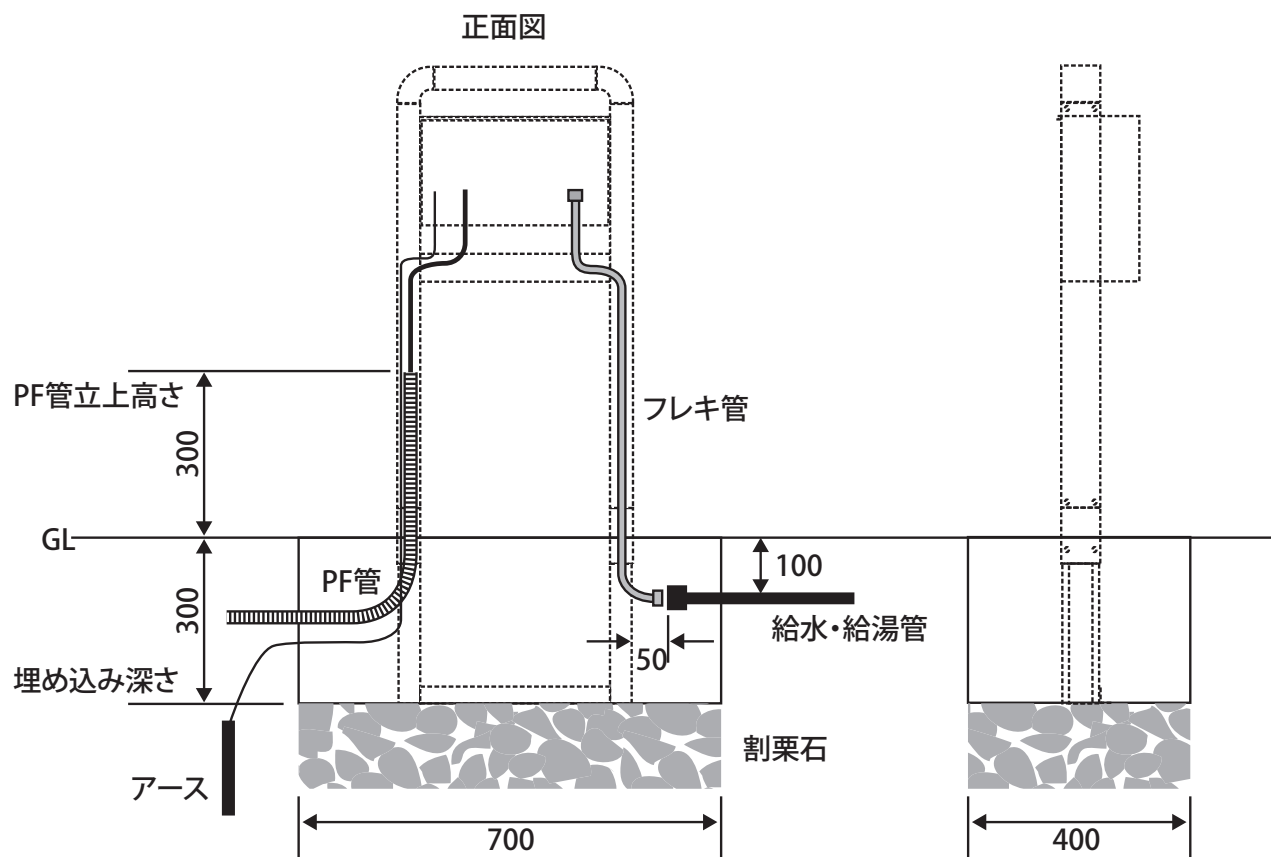


3 基礎工事と配管準備

PF管は、ポスト左側のサイドポールに挿入します。ポスト設置位置の左側にPF管の端がくるようにしてください。なお、PF管はGLより300mmの高さに立ち上げてください。

給水・給湯管はポスト右側の地中でフレキ管に接続します。ポスト右側GL下100mmで、サイドポール端面から50mm以内の位置に給水・給湯管の端がくるように準備してください。

なお、ポストの埋め込み深さは300mmです。コンクリート基礎の穴の大きさは下図を参照してください。



注意

本体アースをかならず施工してください。アース線は、左サイドポールの中を通してエネルギーユニット内部のアース端子に接続されます。

4 埋め込み作業

【注意】前ページ (P.9) の図を参照してください。

・左サイドポール (電気配線)

PF 管、アース線を左サイドポール下部より挿入し、配線をサイドポールの穴からエネルギーユニット内部にとおしてください。この作業には、サイドポールカバーを取り外す必要があります。(P.7 「各部の分解・組立について」を参照してください)

・右サイドポール (給水・給湯管)

給水・給湯管を右サイドポール下部から出ているフレキ管に接続してください。地中に埋まる接合部は、防食テープで処理してください。

電源線の導通および給水・給湯管の水漏れを確認後、エネルギーボックスバックパネル、サイドポールカバーを元の位置に取り付けて、埋め戻しをおこなってポスト本体を固定してください。

5 電気配線作業

・コンセント用電源

EV200V (EV100V) コンセント用電源線および通常 100V2 個口コンセント用電源線はそれぞれ、コンセントの背面側から各端子に差し込んでください。

・足元灯、明暗センサーの配線 (オプション)

足元灯付きの場合は、電源線をエネルギーユニット内の明暗センサーに接続し、そこから LED 足元灯に分岐してください。

